



# 10月から福祉タクシー券廃止 新制度で助成額が大幅に減 月2,800円→1,500円

「こんなに減らされては移動できない、困る」



障がいのある方の外出支援を目的に福祉タクシー券交付とガソリン代助成が実施されています。市はこれを統合廃止し、10月から月1500円の現金支給に変えようとしています。

今回の変更で、対象者が身体障がい3級まで拡大されることは前進ですが、これまでの月2800円から1500円に大幅に減額されてしまいます。

## 障がい者支援の立場で

私、宮坂良子は、障がい者の方から「突然のことでビックリした。こんなに減らされては移動でなくなる、困る」と相談が寄せられたことを紹介し、「なぜこれほど減額しなくてはならなかったか」とたずねました。

市は「令和4年度の利用実績は平均1846円となっており、1500円と比べて大きく減額するものでない」支給月額が低いという意見は認識している「大幅に予算が増額にならないように調整した」と答えました。

私は「平均より随分下げています。障がい者支援の立場にたった予算編成ではなかった」と見直しを求めました。

## 14市平均2578円

粕江市と同様の交付をしている多摩14市の平均は2578円。最高は小平市で月4500円、3000円以上が9市もあります。

## 2800円に戻すべき

身体障がい者1級の保護者の方から「府中の療育センタ



## 福祉タクシー券って？

福祉タクシー券は、上肢障がいと聴覚障がいを除く、移動が困難な身体障害者1・2級、愛の手帳1・2度の方等468名（22年度）に交付されています。

市は「移動が困難な障がい者の人の外出支援、その手段の確保等に大きな意義があると認識している」と答弁。

1に通っているもので7、8千円もかかる。とても足りるものではない」「せめて今まで通り月2800円に戻してほしい」と言う声が寄せられていました。  
私は「粕江市は他市平均と比べても大きく減となる。減額は止め、せめて2800円に戻すべき」と求めました。  
市長は「利用実績等を踏まえた金額なので今の時点で変更する考えはない」と答えました。

## マイナ保険証がなくても大丈夫！

### 12月以降も保険証は使えます



保険証の代わりとなる「資格確認書」が申請なしで届き、これまでと変わらず受診できます。「資格確認書」は、形も記載内容も現行の保険証と全く変わりません。だったら保険証を残す方が、コストもかからず合理的です。

広報こまえ7月15日号に「マイナンバーカードの申請はお早めに」という記事が載っていました。紙の保険証は12月2日から現行の健康保険証は発行されなくなるので、早めにマイナンバーカードを申請するようにと、いかにも12月2日以降は現行の保険証が使えなくなるような書きぶりですが、12月2日以降も現在の今まで通り保険証は有効期限まで使えます。（最大1年間）

## 「安心ください」

その後、マイナ保険証を持っていない方には、

「利用促進」のキャンペーンが行なわれており、217億円も計上されています。  
これからも日本共産党市議団は、全国保険医団体連合会（お医者さんの会）とも連帯し、現行の健康保険証を残すよう求め続けていきます。

# 狛江駅北口の緑と景観守って 樹木伐採は見直して!

7、8月は猛暑で救急搬送される方も前年を上回っています。地球温暖化は、いまや「気候危機」「地球沸騰化」(グテレス国連事務局長)と言われていると思います。こうした中、全国各地で樹木の伐採計画が住民への十分な説明もなくすすめられています。

狛江市でも狛江駅北口の樹木・植え込みの伐採撤去が行なわれています。

6月議会に市民の方3人から「狛江駅の緑と景観を守ってほしい、伐採計画の見直し」

狛江駅北口側道入り口

樹木、植え込み伐採前



樹木、植え込み伐採後



狛江駅側道 泉の森会館前



の陳情が出されましたが、市民、公明、分・維、生ネらによつて否決されてしまいました。

その後、市民の方がスタンディングやアンケートなど行ない、日本共産党市議団も7月10日、市長へ「市民説明会の開催」「伐採の中止」を求める緊急要望を行いました。その結果、多少の修正が行なわれましたが、9月下旬から噴水の撤去と樹木伐採、土地面を舗装する計画です。引き続き緑を守るためにがんばります。

## インフルエンザワクチン 助成実現!

対象：6カ月～12才まで 1回につき2,000円の助成

### 予算組替え、一般質問(6/7)で要望

インフルエンザは例年は12月から3月にかけて流行しますが、昨年は9月から年間を通じて猛威を振るいました。

私、宮坂良子は、専門家の「秋から冬にかけて再び増える可能性もある。今回の大流行は集団免疫が低下していた。特に子どもは病原体に感染した経験が少ないため免疫が未発達なので、免疫力を高める予防法はワクチン接種」との見解を紹介。また「子どもへの接種は2回必要であり、東京都からも13才未満に対し、2分の1補助がある」として、「子どもたちへの負担をなくすためにもワクチンの助成を」と求めました。

市は「国や東京都、近隣自治体の動向に注視しながら検討したい」と答えていました。

8月28日開会の第3回定例会の補正予算に、インフルエンザワクチン助成が計上され、6カ月～12才までの子どもにも1回につき2,000円、2回接種分の助成が実現しました。接種期間は10月1日～25年1月31日です。

ねばり強く求めていたことが実現し、本当に良かったです。



## ご存知ですか?

### 9月のシルバーパス一斉更新

今年度は郵送での更新手続きとなりました。

#### 《1,000円のパスの場合》

- ①更新手続きの案内が届いた方は、「東京都シルバーパス負担金払込票」を使ってコンビニで負担金を支払います。
- ②返信用封筒に所得確認書(介護保険料納入通知書または住民税非課税証明書のコピー)を同封しバス協会へ返送してください。  
提出期限を過ぎても手続きは可能です。
- ③対象は非課税の方、または合計所得が135万円以下の方。

#### 《初めての方、20,510円のパスの場合》

- ①健康保険証、または免許書。所得確認書
- ②20,510円の方は所得確認書は不要です
- ③発行は小田急バス狛江営業所

\*不明なことは、東京バス協会シルバーパス専用  
電話：5308-6950へお問い合わせを

## 生活なんでも相談

くらし、子育て、仕事…  
なんでも お気軽にご相談ください



生活相談 宮坂良子事務所 毎月第2土曜日10時～12時 法律相談 毎月第1火曜日13時～15時 (予約してください)

連絡先 事務所：和泉本町4-1-10-105 ☎ 3480-1895 自宅 ☎ 5497-2828  
携帯 ☎ 080-1268-9295 メール yoshiko.1228@docomo.ne.jp



私、宮坂良子は、全都の議員とともに都に対しPFAS対策強化のために汚染源の特定、実態把握を求める申し入れを行ないました(24.7.26)。